



平成 23 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 東海観光株式会社
 代表者名 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ
 (コード：9704、東証第1部)
 問合せ先 財務経理管掌取締役 宍戸 佐太郎
 (TEL. 03-5488-1010)

平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想値との差異及び通期業績予想の修正
 並びに剰余金の配当に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 10 日に開示いたしました平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）の業績予想値と本日開示の平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 12 月期（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正するとともに、中間配当の実施は行わないことを本日開催の当社取締役会において決定させていただきましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異
 （平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	658	25	9	△10	△0円05銭
今回修正 (B)	507	△73	△65	△75	△0円34銭
増減額 (B-A)	△150	△99	△75	△64	
増減率 (%)	△22.9	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 12 月期第 2 四半期)	525	△115	△150	△161	△0円85銭

(参考) 平成 23 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想値と実績値との差異
 （平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	290	△73	△54	△56	△0円26銭
今回修正 (B)	179	△160	△86	△77	△0円35銭
増減額 (B-A)	△111	△86	△32	△21	
増減率 (%)	△38.4	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 12 月期第 2 四半期)	233	△172	△175	△174	△0円92銭

2. 平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正
(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,358	80	47	8	0円04銭
今回修正予想 (B)	1,827	△5	△12	△42	△0円15銭
増減額 (B-A)	469	△85	△60	△50	
増減率 (%)	34.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年12月期)	1,102	△203	△259	△772	△4円03銭

(参考) 平成23年12月期通期個別業績予想数値の修正
(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	611	△128	△17	△20	△0円10銭
今回修正予想 (B)	499	△214	△50	△42	△0円16銭
増減額 (B-A)	△111	△86	△32	△21	
増減率 (%)	△18.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年12月期)	495	△344	△297	△785	△4円09銭

3. 差異及び修正の理由

平成23年12月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異につきましては、売上高が、東日本大震災の重大な直接的被害はなかったものの、主体事業である宿泊事業において、宿泊予約のキャンセルおよび外国人旅行客の大幅な減少により、前回予想を150百万円下回り5億7百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、主に前述の売上高が大幅に減少したものの、コスト低減努力により、前回予想を99百万円下回り73百万円の損失となる見込みです。

経常利益につきましては、前述の営業損失の増加等により、前回予想を75百万円下回り65百万円の損失となる見込みです。

四半期純利益につきましては、前述の経常損失の増加等により前回予想を64百万円下回り75百万円の損失となる見込みです。

また、平成23年12月期通期連結業績予想につきましては、霊園事業がマレーシアの良好な経済環境のもと、納骨堂及び寺院の建設等の先行投資が収益性の拡大を実現し始め、震災等による国内事業の低迷を補完し、業績改善に寄与が見込めるものの、上期の減収減益を補うまでには至らないこと、また、平成23年7月20日にお知らせしました、守口ロイヤルパインズホテルの不動産信託受益権の取得による業績への寄与が見込まれることから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を修正いたします。

4. 剰余金の配当

当社は、定款第 35 条において中間配当制度を設けており、中間・期末の年 2 回の配当を基本方針としておりますが、当期におきましても、以下の理由を以って中間配当の実施は行わないことを本日開催の当社取締役会において決定させていただきましたので、ここにご連絡申し上げます。

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 23 年 2 月 10 日公表)	前期実績 (平成 22 年 12 月期)
基準日	平成 23 年 6 月 30 日	同左	平成 22 年 6 月 30 日
1 株当たり配当金	0.00 円	未定	0.00 円
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(2) 理由

平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績は営業損失であり、同業績及び同期末における当社の財務状況等を総合的に勘案しました結果、第 2 四半期配当を見送ることとさせていただきます。

なお、期末配当予想につきましては、業績の動向が不透明なため、現時点では未定とさせていただき、確定次第速やかに公表いたします。

以上